

# 市長定例記者会見

と き：令和5年5月24日（水）

午前11時00分から

ところ：市役所静岡庁舎8階 市長公室

- 1 「社会の大きな力と知を活かした根拠と共感に基づく  
市政変革研究会」の設置について **【企画課】**

◇幹事社代表質問 担当「日経新聞」

次回の予定 6月6日（火） 午前11時00分～

## 「社会の大きな力と知を活かした根拠と共感に基づく市政変革研究会」の設置について

### 1 設置趣旨

今、世界が大変革期（地球環境の世紀×知能革命の時代）にある中、地域社会では、急速に進む人口減少、頻発化・激甚化する自然災害、持続的な経済成長、子育て・教育環境の充実など、多様かつ多数の課題が山積しています。

これらの課題は、一つ一つの政策を個別に進めていけば解決するものではなく、複雑な要素が絡んでいる社会課題として捉え取り組んでいく必要があります。また、科学技術が急速に進展する中、今後は、自前主義ではなく、「社会の大きな力」と「世界の大きな新しい知（知性、知恵、知能）」を活かして、社会課題の解決や新たな静岡市の価値・魅力の創造に繋げる「共創」の仕組みづくりを進めていくことが不可欠です。

また、「共創」のためには、「開かれたわかりやすい市政」が重要です。市政の政策決定過程や市の持つ情報を、わかりやすく使いやすく公開することで、「社会の大きな力」と「世界の大きな知」が動き、それが社会に新たな知をもたらすことになります。

こうした考えのもと、新たな時代に即した政策・施策を立案し実行につなげるため、デジタル・トランスフォーメーション（DX）、グリーン・トランスフォーメーション（GX）、ブルー・トランスフォーメーション（BX）といった、社会経済の将来動向や最新の科学技術に精通した有識者を委員に迎えた会議「社会の大きな力と知を活かした根拠と共感に基づく市政変革研究会」を設置します。

### 2 研究会委員（五十音順、敬称略、○は会長） ※令和5年5月24日時点

氏名	肩書	主たる専門分野
いけだ けいこ 池田 恵子	静岡大学教授 グローバル共創科学部長	男女共同参画、ESD
うちだ はるひさ 内田 晴久	東海大学教授 静岡キャンパス長	水素エネルギー、リサイクル
くろいし まさあき 黒石 匡昭	PA パートナース株式会社 代表取締役	行財政改革、公共調達
さかい さとし 酒井 敏	静岡県立大学 グローバル地域センター特任教授 副学長	地球流体力学
さかた いちろう 坂田 一郎	東京大学工学系研究科教授、総長特別補佐	DX、GX
しんじょう あつし 神 成 淳司	慶応義塾大学 環境情報学部教授、内閣官房 イノベーション戦略調整官/健康医療戦略室長次長	情報政策、AI 農業、ヘルスサイエンス
たかお まきこ 高尾 真紀子	法政大学大学院政策創造研究科教授	福祉、ウェルビーイング
たに あきと 谷 明人	JX 金属戦略技研株式会社 代表取締役社長	技術政策、防災
はしもと まさひろ ○橋本 正洋	法政大学大学院政策創造研究科教授	ブルーエコノミー
もりかわ たかゆき 森川 高行	名古屋大学 未来社会創造機構 モビリティ社会 研究所 社会的価値研究部門 教授	次世代交通システム
やまぎし ゆうき 山岸 祐己	静岡理工科大学 情報学部 データサイエンス専 攻 講師	DX

【助言者】委員と同様に研究会に参画しデータ分析等について随時助言を行う

あおき しげき 青木 成樹	一般財団法人マリンオープンイノベーション (MaOI) 機構 特任研究員	地域産業経済、経済波及効果
------------------	---	---------------

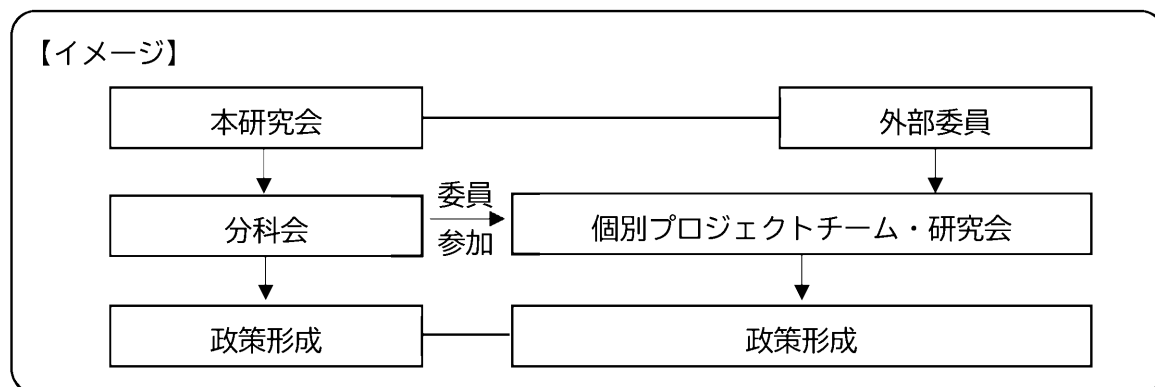
※委員は今後必要に応じて随時増やしていく予定

### 3 第1回研究会内容

- (1) 日時  
令和5年6月1日(木) 9:30~12:00
- (2) 場所  
静岡市役所 静岡庁舎8階 市長公室
- (3) 出席者・参加者
  - ・研究会委員
  - ・難波市長
  - ・大長副市長、本田副市長
  - ・庁内局長級職員(一部オンライン出席)
  - ・庁内職員(オンライン参加)
- (4) 内容
  - ・難波市長挨拶、趣旨説明
  - ・橋本会長挨拶、進め方提示
  - ・基調講演(坂田委員)
  - ・各委員発言
  - ・今後の進め方(分科会構成)
- (5) 分科会  
DX、GX、BX、市民参加システム、ウェルビーイング、防災、子育て・教育、ヘルスケア、交通などを軸に、10程度の分科会を設置予定。  
※分科会の内容は現在調整中。また、今後必要に応じて随時増やしていく予定。

### 4 第1回研究会以降の進め方

- (1) 研究会(全体会議)  
全体の状況を共有するため、令和5年秋頃に第2回研究会(WEB会議)を開催予定。
- (2) 分科会  
分科会ごとに、専門の委員が行政アドバイザーとして庁内所管局等との議論を深め、個々の政策・施策に反映させていく。
- (3) 個別プロジェクトチーム・研究会  
子育て教育総合政策など、庁内に別途新たに設置するプロジェクトチームや研究会へ、本研究会の委員が参加する。



- (4) 政策・施策への反映  
本研究会における議論の内容については、市民の皆様、市議会の理解を得て、政策・施策として発表し、順次実行に移すとともに、予算を伴うものについては令和5年度補正予算や令和6年度当初予算に反映させ、実行していく。

「社会の大きな力と知を活かした根拠と共感に基づく市政変革研究会」設置のねらい

1. 背景：①静岡市政は、大変革期（地球環境の世紀×知能革命の時代×人口減少社会）への積極的な適応が遅れているとの危機感  
 ②開かれたわかりやすい市政へ  
 根拠と共感に基づく政策執行（EEPE）の推進  
 （EEPE：Evidence and Empathy based Policy Execution）

2. 適応方法：静岡型の共創モデルの構築（「社会の大きな力」と「世界の大きな知」の融合により、新しい方法で課題解決をし、新たな価値・魅力を創っていく）

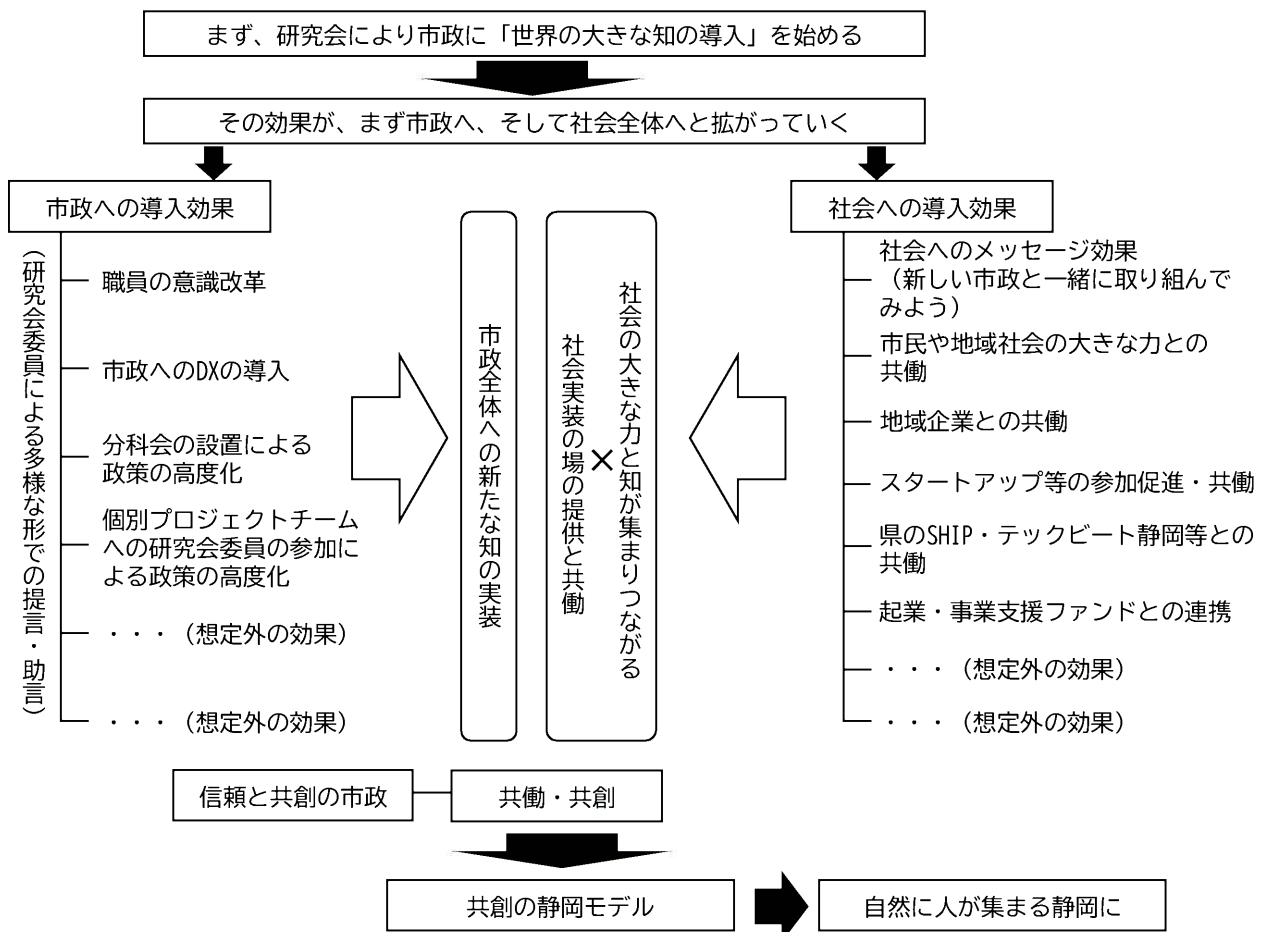
「社会の大きな力がつながる」 × 「世界の大きな知が集まり、つながる」  
 つながりを下支えする温かい市政 × 結果が出るよう、伴走する温かい市政

3. 静岡市の強みと弱み

強み：社会に大きな（潜在的な）力がある  
 多様で深みのある産業力

弱み：研究・専門技術サービス業従事者の割合が少ない  
 世界の大きな知の導入への市政の積極性が不十分（DX、GX への対応の遅れ）

4. 研究会設置のねらい



新しい市政の姿

めざす社会：新しい時代の真に「安心感がある温かい社会」  
その実現方法：社会のみんなの力による「共創」

【別紙2】

共創

地域づくりの主役は、地域の人・社会

くらしの安心感

災害  
健康・老後  
出産・子育て・教育など  
の安心

みんなで支え合い  
笑顔があふれる  
温かい社会

経済的な安心感

今も将来も  
経済的な安心感があり  
働きやすく、働きがいがある

社会課題の解決

新たな価値の共創

社会がうまく働く仕組みをつくり、社会基盤をみんなの力で押し上げる



社会の大きな力が  
つながる

人・資本・資金  
情報が集まり  
つながる

世界の大きな知が  
集まり、つながる

共働

つながりを下支えする、温かい市政  
一緒に進もうと思ってもらえる市政

温かい人のところ  
(静岡の一番の強み)



社会の大きな力と  
知を活かした  
根拠と共感に基づく  
市政変革研究会

基調：信頼と共創の市政

市民は市政を信頼し、市政は市民を信頼  
めざす社会実現のため共に行動し結果を出す

静岡モデル

「安心感がある温かい社会」×  
「持続可能な暮らし方」×「共創の社会システム」



自然に人が集まる静岡に  
静岡モデルを世界に発信

結果が出るよう、ついでに、伴走する温かい市政